



NPO法人環境みらい下関

4つのR【快適環境都市の実現】

【REFUSE REDUCE REUSE RECYCLE】

《4つのRの推進》

限りある資源を有効に活用し、資源の枯渇を防ぐとともに、廃棄物の量を少なくし再利用する方法を考えること。

それが今を生きる私たちの責任だと思います。そんな視点から、4つのRを推進することが必要です。

リフューズ 『要りません。』と断ること

ごみになるレジ袋、紙の手提げ袋、クリーニングの透明カバーなどの包装類は、『要りません。』と断る。



リデュース 減らす努力をすること

可燃ごみの約30%は生ごみです。買い過ぎや作り過ぎに気をつけ、コンポスト等を利用し、堆肥にする等少しでも生ごみを減らす。

リユース 元の形のままで再利用すること

ビールビン、牛乳ビンなど再利用できるリターナブルビンを購入したり、繰り返し使ったり、詰め替えできる商品を選ぶ。



リサイクル 形を変えて再利用すること

ビン、缶、ペットボトルは資源ごみとして出し、牛乳パック、発泡スチロール容器などは、洗って回収場所に持参する。